

質問の件名及び質問の要旨（質問時間）	答弁を求める者
<p>1 市職員のモラル・綱紀粛正の徹底を（15分）</p> <p>職員による市民課窓口での市民アンケート改ざん問題、鶴ヶ島市長が企業長である坂戸、鶴ヶ島水道企業団での職員による収賄事件が全国的に報道され、鶴ヶ島市の市民から「何をやっているんだ」との怒りの声が満ちています。そして鶴ヶ島市の悪いイメージが全国に広がりました。市民から付託を受けている議員として看過できない事態が起きました。市長のモラルを含めてあらためて職員全体の綱紀粛正と倫理の向上を徹底していかなければなりません。</p> <p>市長として綱紀粛正と倫理向上の具体的な決意と手立てを伺う。</p>	<p>市長 教育委員会教育長</p>
<p>2 重度化をいかに防ぐか（25分）</p> <p>第3期介護保険事業計画から「地域支援事業」が行われ、介護予防事業、包括的支援事業、任意事業が内容でしたが第5期事業計画からこの介護予防事業は「介護予防・日常生活支援総合事業」になっています。当市は、第6期介護保険事業計画に入ってきています。しかし、国は「新しい総合事業」（介護予防・生活支援サービス事業、一般介護予防事業）という名前で見直しがなされています。この介護予防・生活支援サービス事業は、要支援1・2の方や基本チェックリストによる判定で、要介護リスクの高いと判定された人に限定されました。一般介護予防は、介護予防体操教室や講習が当てはまります。当市が第6期事業計画に入れている一次予防とか二次予防とかの語句は使わないということです。</p> <p>（1）当市には「支え合い」の組織が市民の力でできていますがそれはそれとして評価します。市は、これらの「支え合い」の方々にどのような役割を果たしてもらおうと思っていますか。</p> <p>（2）これらの方々は有償ボランティアの位置づけでしょうか、介護上の資格や報酬、介護施設になり得るか実態はどうなっていますか。</p> <p>（3）「非該当」や要支援1、2の軽度者への支援をあてにしていますか、</p>	<p>市長</p>

質問の件名及び質問の要旨（質問時間）	答弁を求める者
<p>そうであるなら、市からの支援、介護保険からの支援が欠かせませんが。</p> <p>（４）政府は、介護保険制度見直しで、要介護１，２の生活援助や通所介護を保険給付から外すことを検討しています。世論に押されて今回は見送りになると思われます。しかし、厚生労働省は要介護１，２の「軽度者」の利用料の１割から２割以上への負担増などを来年の国会へ提出しようとしています。これらの動きをどう見ていますか、重度化につながると思いませんか。</p> <p>３子どもたちのやる気に応援を（２０分）</p> <p>１１月１６日の新聞にはN I Eコンクール（日本新聞協会主催）の埼玉県審査会の表彰式が１５日に行われたことが報道されていました。それによると市立栄小学校の須藤貴海君（１０歳）が２年連続で優秀賞に輝いたとのことでありました。そして全国審査に進むということです。喜ばしい限りです。子どもたちの活躍は、各分野で目立っています。スポーツの分野でもめざましい成果が上がっているようです。さらに藤中学校の吹奏楽部の素晴らしさは多くの市民の知るところになってきていますし、第二小学校の子どもがバイオリンで鶴ヶ丘第四自治会の敬老会に招かれ素晴らしい演奏をしています。しかし、こうした子どもたちの活躍は、ほとんどの市民は知らないままになっています。大いに市民に知ってもらい応援していく雰囲気づくりをしていくことが大切と思います。</p> <p>（１）教育委員会は、こうした子どもたちのすぐれた活躍ぶりをどのように把握していますか。</p> <p>（２）教育という視点で一芸に秀でた児童・生徒をどのように位置づけていますか。</p> <p>（３）市役所ロビーに教育委員会スペースをとり、常時、子どもたちの活躍ぶりを紹介する場として市民に紹介し、励ます雰囲気をつくっていったらどうでしょうか。</p>	<p>市長 教育委員会教育長</p>